

東京都檜原村議会

事績2 住民に開かれた議会

檜原村は、東京都の内陸部では唯一の村であり、105km²の面積の内約93%が山林となっています。また、村の大部分が秩父多摩甲斐国立公園に指定され、多摩川の支流である秋川が村内を東西に流れるなど、自然豊かな村として、「森と清流を蘇らせ、未来に誇れる活力のある村」を基本理念に「癒しの村」づくりを目指しています。

檜原村議会では、住民からの「議会のことをもっと知りたい」という声や、「住民に議会活動をより身近なものとして知ってもらえるべきでは」という議員からの声を受け、平成29年度から村ホームページ上に会議録を掲載するための検索システムを導入しました。

当初は、検索システムを導入する平成29年度からの掲載を予定していましたが、現在の議員構成となった時からの会議録を掲載することで、議員活動の経過が分かるとの意見が議員からあり、平成27年度分からの会議録を掲載しています。

平成30年度からは、本議会の会議録のほかに予算・決算特別委員会の会議録についても掲載しています。

村議会ホームページには、検索システムの導入に合わせて新たに定例議会における一般質問の件名を掲載するなど、内容の充実に努めています。

また、議会だより編集委員会の議員を中心に、住民に分かりやすく、読みやすい紙面づくりを心がけた議会だよりを年4回発行し、村内の全世帯に配布しています。

議会だよりについては、以前から住民に高齢者の多いこともあり、写真を掲載するなど見やすい内容とすることを目指していましたが、平成25年には表紙をカラーに、平成30年度からは全てのページをカラーにして、さらに見やすく、住民の方に手に取っていただけるよう工夫をこらしています。

住民からは、ホームページの検索システム導入や議会だよりの全ページカラー化について見やすくなったなど好評の声があり、一定の評価を受けていますが、さらに住民に開かれた議会を目指し検討・研究を行っていくこととしています。